



第 49 号 千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:河津 一行

令和3年度米価見通し

代表理事 山本 耕一



初夏の日差しの中で田植え作業
といちこの収穫作業は最終盤を迎
えようとしています。6月1日には
能義小学校児童全員を迎えてイ
チゴ狩りを楽しんで頂きました。

また平成28年から役員改選時期
に合わせアンケートを取らせて頂
き今回で3回目となりました。組
合員の皆様から頂いた貴重なご意
見等を今後の取組みに反映させる
ように頑張っております。ご協力
ありがとうございました。

ここで、当法人の売上の8割を
占める米の売上のもとになる令和
3年産米価の動向と今後の予想に
ついて説明します。近年、米の需
要量は少子高齢化に伴
って年間約10万ト
ンの減少傾向に
あります。それ
に加え新型コロナ



ロナウイルス感染症
の拡大によりさらに需要が減少し
ている状態です。米価が下落し始

めた要因の一つに需給環境のバラ
ンスの崩れがあります。新聞など
で今年6月末の米の民間在庫量は
約220万トンあり、今年の出来秋だ
けではなく来年の秋まで在庫過剰
の影響は続くと思われています。
こうした状況の中でJAグループで
は農家に飼料用米への作付け転換
を呼び掛けていますが、その目標
転換面積は6万7千ha(山形県の
米作付面積と同等)と過去最大規
模となり各地の地域再生協議会か
らの支援を受けても達成が難しい
数字と思われれます。

この過剰在庫の状態は、平成25
年、平成26年も同様な状態があり、
その時は戦後最大級の米価(概算
金)の暴落となり、平成26年には
60kgあたり2千円以上も下落し当
法人の耕種売上では2千万円以上
の減収となった記憶がよみがえり
ます。

その年の米価は6月末の民間在
庫量を勘案して決定します。島根

県農協の令和2年産米買取り価格
は60kgあたり1万2千円だったの
ですが、8月に発表される令和3
年産については60kgあたり1万円
を下回る可能性があります。

先行きが不透明な内容となりま
したがこの危機を乗り越える為

は経費節減はもとより、新規に先
行投資した事業の結果を早期に出
さなければなりません。また中長
期プランでお示した計画の時間
軸を明確にして具現化に向けて取
り組む必要があります。皆様のご
理解とご協力をお願い致します。



5月25日に 6月1日には、全校児童の皆さ
5、6年生 んをいちご狩りにご招待しました。
18人の田植 みんなとても楽しみにしてくれた
え体験学習 ようでした。この日はどじょうこ
があり、小学 テレビの取材も入り『安来が好
校近くの田 きーわー!』のフレーズの収録も
んぼの一区 ありました。時々には流れると思
画で田植え ますので、ぜひご覧ください。

ぼに入るのに勇気がいられます。田
んぼに入ってから次々と植えて
いくことが出来
ました



アンケート結果

皆様にご回答いただいたアンケートの結果をご報告します。

それぞれの質問についていただいた回答をグラフにてあらわしご報告させていただきます。

回答件数は、前回平成30年の実施時と同等の回答をいただきました。年代比率は70歳以上が微増していますが、世帯内訳や60歳以上のみの世帯数などほぼ同じでした。

◎ 回答数 79件 (53%)

世帯内訳

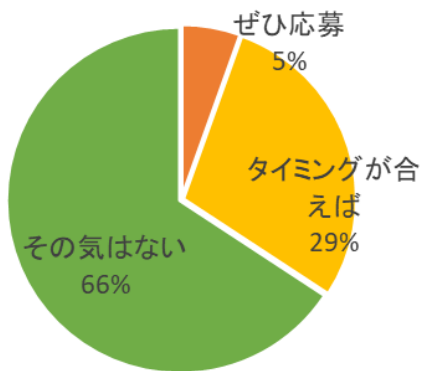
| 人数 | 割合 |
|------|-------|
| 1~2人 | 29.5% |
| 3人以上 | 70.5% |

| | |
|-----------|-------|
| 60歳以上のみ世帯 | 29.1% |
|-----------|-------|

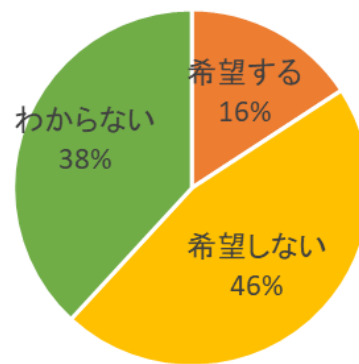


| 年代 | 割合 |
|-------|-------|
| 70以上 | 33.4% |
| 65~69 | 5.4% |
| 60~64 | 7.3% |
| 55~59 | 7.6% |
| 50~54 | 5.1% |
| 45~49 | 4.1% |
| 40~44 | 6.4% |
| 30~39 | 6.4% |
| 18~29 | 9.6% |
| 18未満 | 14.6% |

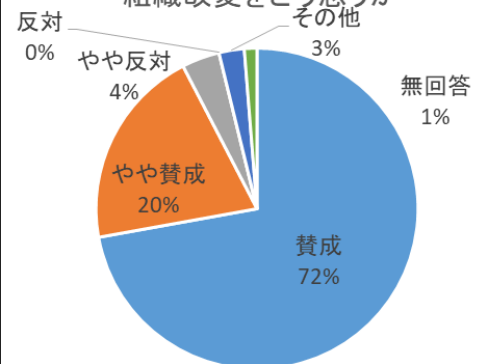
従事雇用に応募したいか



従事雇用を希望するか



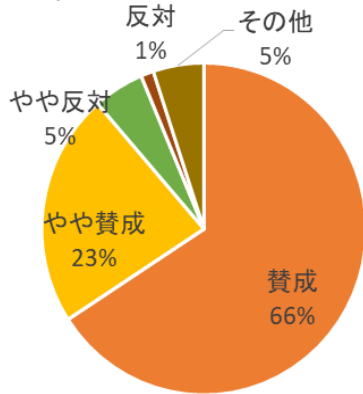
職員や従事組合員を中心とする組織変更をどう思うか



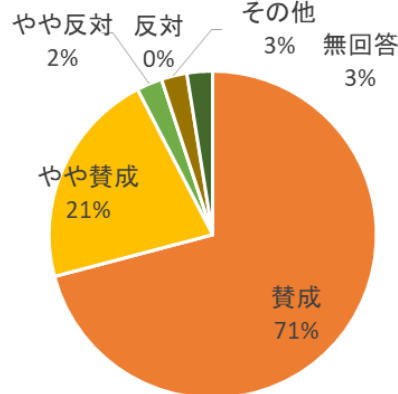
観光農園や直売センターについては、それぞれ約90%の方に賛成していただいています。



直売センターについて

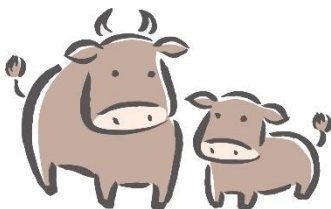


いちご観光農園について

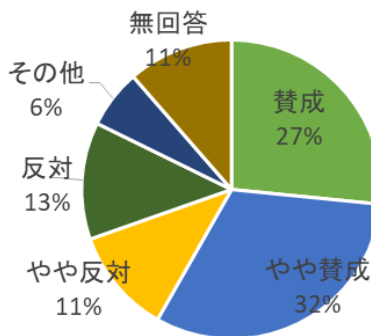


従事組合員という制度を今期から設けましたが、90%以上の方に指示をいただきました。また30%を超える方が興味を持っておられることがわかりました。

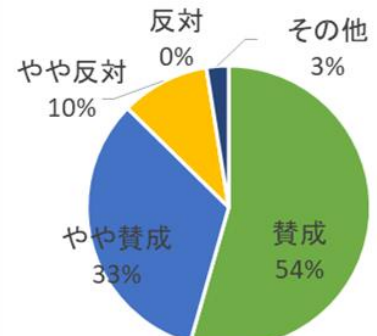
多くの方が新規事業への投資は必要と考えておられます。その中の和牛繁殖事業については慎重な考えの方が多くとわかりました。



和牛繁殖事業について



新規事業への先行投資



◎各問での「その他」の「」意見を「」紹介します。

《イチゴ観光農園について》

- ・PRになる。知名度が上がる
- ・黒字になるなら賛成する。
- ・値段が高い
- ・身近で収穫体験ができる。
- ・PR不足
- ・人を呼び情報発信ができる。
- ・家族や子供たちが楽しめる場所であってほしい。

《直売センターについて》

- ・ある程度規模を大きくしないと集客は難しい。
 - ・建物の新規建設ならば反対。
 - ・テレビに取材に来てもらう。
 - ・人員はどうするのか。
- 《新規事業への先行投資について》
- ・3〜5か年計画を立て必ず実施検討する。

からがよい。

- ・借入金の返済計画や将来の補助金がどうなるかわからなくて不安。
- ・先行投資をやめ少数精鋭で利益を追求する。
- ・米作りのブランド化を図る。

・手を広げすぎになるのは反対。《和牛繁殖事業について》

- ・技術者がいればよい。
- ・高価格の時の投資に不安。
- ・母系評価の高い血統を導入する。
- ・事業を中止したとき投資したものの元がとれているか検討が必要。
- ・経営の幅広さは活動に魅力が加わるので順次検討していく。
- ・先行投資した以上に利益向上に努力すべき。

よい。

・和牛繁殖経験組合員でプロジェクトチーム編成を検討する。



◎意見をいただく問いに対してのおもな回答をご紹介します。

【問】各町内の空き家問題にどう対処すれば良いか。

- ・行政で対応すべき問題。行政と一緒に考える。
 - ・1、Uターンを受入れる。
 - ・研修交流施設として利用する。
 - ・個人の問題。
- 【問】今栽培しているもの以外で何か栽培するところは何が良いか。
- ・あすっく、小松菜、アスパラ、

サトイモ、きのこ、すいか、玉ねぎ、ブロッコリー、トウモロコシ、マンゴー、みょうが、しそ、レタス、花。

・畜産

・現状の作物で収益を上げる。

【問】体験学習などの受け入れの他に何かできることがあるか。

- ・外国の人や学生、または地域の若年層などに農業を体験してもらう。
- ・広告代理店に依頼して企画をもろう。
- ・大学など教育機関と連携して商品開発をする。

・地域のボランティア活動に参加する。

・フードバンクへの登録。



貴重なご意見を多数いただきありがとうございます。同意の意見は文章をまとめています。また紙面の都合ですべてのご意見をお知らせすることが出来ませんでした。ご了承ください。

いただきましたご意見は、今後の経営の指針として活用させていただきます。

「ご協力ありがとうございました。ございました。」



新入社員紹介

新たに3名の方をお迎えしました。新卒の清山さん、主に経理を担当する加藤さん、安来市特定地域づくり事業協同組合より派遣された佐小田さんです。それぞれに一言いただきましたのでご紹介します。

○清山 玄豊（はると） (久白町)



至らぬ点ばかりですが精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

○加藤 寛子 (飯島町)



農業経理は初めてですがこれまでの経験を生かして精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

○佐小田 健 (伯太町)



未経験ですが明るく楽しく農業を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いします。

願います。



田んぼの様子

田植えは順調に進んでいます。あと飼料用米を残すのみとなりました。これを終えると田植えは終了となります。



イチゴハウスの隣のぶどうハウスでは、苗木がすくすくと育っています。

小麦、菜種はそろそろ実りの春を迎えています。順次刈取りとなります。



田植えが終わると育苗ハウスは、とまとハウスに変わります。



とまと栽培用のト口箱の準備も進んでいます。



また、令和1年産なたね油も引き続き値引きして販売しておりますのでご検討いただけますようお願い致します。



900 ml 2本入り
3,200 円



500 ml 3本入り
2,590 円



お中元の季節が近づいています。時節柄会うことが難しい遠方の方に、いつもお世話になっている方に、ご挨拶の気持ちと共になたね油を送りませんか。化粧箱入りでご用意し包装、のし掛けを承りますのでお気軽にお申し付けください。

お知らせ

保有米・縁故米について
現在ご注文いただいております保有米縁故米ですが、注文数の変更が可能です。ご要望がありましたらのきの郷事務所までご連絡をお願いします。

芒種(ぼしご)

今年のカレンダーを見ると6月5日は「芒種」となっています。これは24節気の一つで例年6月6日頃から夏至までの間を言います。芒種とは、芒(のぎ)のある穀物(稲、麦)を播く頃という意味です。また72候で表すと、螳螂生(カマキリが生まれる)、腐草為萤(螢が飛び)、梅子黄(梅の実が実る)となります。

のきの郷ではこの頃にはすでに田植えが終わっていますね。

ちよっこし聞いて

事務所の周りを今年もまた「チドリ」がにぎやかにさえずっています。ちよこまかと走り回る姿を見るとほっこりします。(カ)

